

『もう1回!』 5歳児 12月 伏見こども園

大縄で遊び出した11月頃は、保育者が縄を回し、何回跳べるかを楽しんでいましたが、12月に入ると他の遊び方を
する姿も見られるようになり、保育者がいなくても「私が回すね」と友達と交替で縄を回して跳ぶことが増えています。

エピソード

Aちゃんが「回すよ」と言って縄を回し始めました。Bちゃんは「走
ってきて跳ぶから回しててな」と言って、回る縄を目で追い、タイミン
グを見計らって走り出しました。縄に入ったと思い、跳んだBちゃん
でしたが、縄に引っかかってしまいました。Bちゃんは「あ〜失敗。もう1
回!」と何度か挑戦しますが、縄が頭や腕に当たり、なかなか跳ぶこ
とができません。保育者が「この辺まで来て跳んでみたらどう?」と
地面に丸い印をかいてみると、Bちゃんは「やってみる!」と再び挑
戦しました。すると、引っかからずに跳ぶことができ、Bちゃんも縄を
回していたAちゃんも「跳べた!やったー!」と喜んでいました。

そこへ数人が「入れてー!」とやってきました。今度はBちゃん、C
ちゃん、Dちゃんが3人で一緒に跳ぼうと縄の近くに立ちました。A
ちゃんが「いくよ」と、縄を回しますが、2回ほど回したところで引っか
かってしまいました。「あれ?!」と跳んでいた3人は笑い合い「もう1
回!」ともう一度跳び始めますが、すぐに引っかかってしまいます。C
ちゃんが「こっち向いてみようかな」と体の向きを変えて跳んでみた
り、並ぶ順を変えて跳んでみたりしますが、なかなか続けて跳ぶこ
とができません。跳んでいる3人が笑い合いながら何度も挑戦してい
ると、Aちゃんが「気持ちを合わせないとあかんで」と声を掛けまし
た。3人も「そうやな」「縄をよく見て跳ぼう」と、Aちゃんの言葉を受
けてまた跳んでみようとしたときに、Dちゃんが「立つところに線か
う」と言って線を引き始め「枝もあった。これ置こう」と立つ位置がわ
かるように置いて並び、「もう1回!」と、跳べるにはどうしたらいいか
考え、いろいろな方法で繰り返し跳ぶことを楽しんでいました。



走ってきて跳ぶよ(挑戦)



頑張って!(応援)

今だ!跳べた!(喜び)

やったー!(喜び)



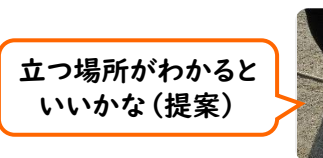
次は3人で跳ぼう(挑戦)



気持ちを合わせないと
(助言)

こっち向きはどうか
(提案)

縄をよく見よう(意思)



立つ場所がわかると
いいかな(提案)

子どもの育ちや学び

- ・「走ってきて跳びたい」「3人で跳びたい」と目的をもって挑戦する。
- ・跳ぼうとする友達を見て励ましたり助言をしたりしながら、タイミングや回し方を考えて縄を回す。
- ・縄に引っかかり跳べなくても友達と笑い合い、体の向きや立つ位置などを考え、「もう1回」と繰り返し跳ぶ。
- ・跳ぶ人も縄を回す人も友達の様子や縄を見て、気持ちを合わせることで跳べると考える。

保育者の思い

- ・Bちゃんが走って縄に入り、跳ぼうとする様子をしばらく見守っていましたが、縄が近づく
とどうしてもそこで止まって縄に当たってしまっていました。止まる位置が分かることで跳
べそうだったので、目印を示してみました。
- ・友達が跳びやすいように縄を回しながら、励ましたり一緒に喜んだり、見ている側から感
じた「気持ちを合わせる」ことを伝えているAちゃんが素敵だなと思いました。Aちゃんの
言葉があることで、一体感が感じられました。
- ・大縄をし始めたころは、跳ぶのも回すのも慌ててしまう姿が多かったですが、跳ぶ子も回
す子も友達の様子や縄をよく見るが増えたことで、跳ぶ回数だけでなく、友達と笑い
合い、いろいろな跳び方をやってみようとする気持ちにつながったのかな、と思いました。

家庭だったら

うまくいかないことも一緒
に楽しんで笑い合える友達
の存在が「もう1回」と、や
ってみようとする気持ちを支え
ていたのだと思います。でき
るようになることだけではなく、
「もう1回」と挑戦しようと
する気持ちを大事にしてい
たいですね。